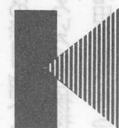


Prime Mover ENGINEERING

東海大学機友会々報

萩 三二先生筆



14号

東海大学機友会事務局

湘南校舎 動力機械工学科事務室

〒259-12 神奈川県平塚市北金目1117

☎0463-58-1211 内4321 FAX0463-59-8293

発行人 河西正彦

印刷 信友印刷株式会社 ☎03-3444-2481(代)

第五回機友会総会開催



の数が定数を満たす発表が有り」第6回評議員会開催の宣言のあと議事進行に入りしました。主な議題は、総会の開催議決新役員推薦、会則改定です。新役員推薦は会長職に、2期6年長をなされた河西正彦氏（41年度卒）に更にもう1期機友会の長期計画実施のためお願いをし、また、会計監事佐々木彰氏（39年度卒）副監事に伊藤昌夫氏（40年度卒）を再選する決議を致しました。

各議題も全員一致にて決議を行い評議会を終了致しました。

引続き午後1時15分より第5回総会が開催されました。司会に内山皓氏、議長に岡田隆生氏（39年度卒）書記に石井克己氏（39年度卒）が選出されたのち、議長より（出席者、委任状の数が定数を満たし成立した旨の発表が有り）「第五回総会の開会」の宣言にて議事進行となりました。最初に事業部小杉伸一理事より、平成3年4月以後の事業報告があり、各行事説明と平均月一回の理事会を基本に「一歩一歩地道に運営されてきた事が報告されました。（詳細は事業報告参照）次に財務部会計局の田能亨入行事（46年度卒）より各年度の会計報告書（会報に掲載により詳細説明報告が有り、その後監査委員会伊藤昌夫監事（40年度卒）より監査の結果会計報告の通りであるとの報告が多ければ決議にて承認されました。

次は任期満了に伴う新役員選出議題で

先の評議員会で推薦が決まった会長及び会計監事・副監事の紹介がありこれも、全員一致で決議承認されました。これを受けて新会長河西正彦氏より抱負と新理事の紹介（別紙）及び会則改正の主旨説明が報告されました。理事会役員組織担当理事に副会長6名を置く新体制で積極的に取り組む実行組織とした事、また会則改定により、会の目的を明確にすると同時に、各組織役割も各規定を設けて、明文化されたこと、また各組織を、代議者を評議員、幹事を理事、監査を監事と名称を変更し、新たに組織充実を計る為に、名誉会長・顧問・各支部長組織を設ける事とした等々の報告がありました。その他の議題として会則に基づく新役員の承認として第4回理事会の決議事項で名誉会長萩三二先生（東海大学短期大学学長、顧問として前会長の小林隆氏（39年度卒）を新たに御就任をお願いする理事会決議が報告され、この新役職も（全員一致をもって本総会で承認され）すべての審議を午後2時30分にして閉会しました。

第7回機友会懇親会開催

総会のあと会場を移し、「松前会館」で懇親会が開催されました。この会は例年の様に、教職員の方々と卒業生の皆様（と子ども）御家族が参加する和やかな懇親会です。特に小さなお子様中心のとても楽しい企画です。まず河西会長より学科の先生方に感謝の御礼と、この度機友会名誉会長を萩三二先生にお願いする事、



水と空気と環境の明日を考える...

荏原グループ

荏原製作所・荏原サービス・荏原インフィルコ・荏原プラント建設
松坂貿易・荏原環境エンジニアリング・荏原電産・荏原金剛
荏原インフィルコ・エンジニアリング・サービス・大岩機器工業所



顧問に前会長の小林隆氏(39年度卒)にお願いする総会決議の報告がありまして、引き続きご来賓を代表致しまして(副工学部長兼主任教授の

第五期会長就任にあたって

機友会会長 河西正彦



第五回機友会総会が無事終了しましたが、ご多忙の中協力頂きまして有難うございました。

本総会におきまして、次期(平成六年四月・九年三月迄)会長に再度就任することになりました。

また、秋三先生が名誉会長に小林隆(39年度卒)前会長が顧問に就任されました。

過去六年近い活動の中、数々の懸案事項がありまして、毎年の行事のと、その年によつて発生する事柄等がありました。その都度学科教職員方々の援助を頂きまた理事役員の協力を得て、乗り越えてきました。

その間機友会役員は次第に経験を生かして作業を理事会各部分担し、より専門的に活動ができるようになり力をつけてきました。具体的な事柄は会報第12号に載せてありますので省略しますが、これも一偏に諸氏の暖かい声援の賜と感謝致します。

次に第五期会長副会長を紹介いたします。

会長 河西正彦
(昭和41年度 干機械卒)

イースタン技研 取締役社長

副会長 岡田隆夫 財務部担当

(昭和39年度機械科卒)

勤務先 高砂鉄工 生産技術部

副会長 望月義久 事業部担当

(昭和39年度機械科卒)

勤務先 住原製作所技術サービス部

副会長 山本泰隆 広報部担当

(昭和39年度機械科卒)

勤務先 スエラ 電子機械部

副会長 有馬敏彦 事業広報部担当

(昭和40年度機械卒)

勤務先 巴工業 産業機械営業部

副会長 伊藤和義 総務部担当

(昭和40年度機械科卒)

勤務先 東芝タンガロイ経営企画部

副会長 奥野勇男 組織部担当

(昭和40年度機械科卒)

勤務先 千葉ナセサービス部

このように社会の第一線で活躍する諸氏が智慧を絞つての機友会でありまして、この下に各部の担当部長が専任されてありまして緻密な活動となっています。

此の度の第五期会長就任にあつてどのような五期の方針にすべきか、早急にまとめる所存です。

さて本年卒業生は動力機械 二百五名、二工機械六十四名の総数二百六十九名であります。またにおめでたうございます。

長い学生生活を終えようとしていることでしょうか。今は経済情勢の最も悪い時期ですが、寒い冬の後には必ず暖い春が来るように希望をもって新しい人生とスタートして下さい。

機友会には卒業生に機友会賞を授与し、また記念品「卒業のしおり」を贈呈します。諸君達は機友会約八千名の卒業生の仲間に入ります。卒業後機友会を通じて母校との絆を「一層深めていって下さい。」諸君の前途に幸多からんことを祈念申し上げます。

秋三教授 名誉会長就任



第五回総会(平成5年11月3日)に於いて機械工学科の充実と発展に永年のわたり御尽力された秋三先生に機友会を名誉会長就任のお願いする事を全員一致で議決しました。これを受けて平成6年1月26日河西会長は、代々木校舎秋三教授を訪ね、名誉会長就任を書面をもってお願いしました。

ハイテックフロンティア

タンガロイ精密株式会社

超硬素材、プレス金型、モールド金型、粉末成型モールド、金型部品の製造及び販売
本社：〒584 大阪府富田林市寿町2-9-11 ☎0721(24)6121(代) FAX 0721(24)6113 営業所：川崎・大阪・福岡

秋 三先生におかれましては、ご健康に留意され、ますます活躍して頂きたく思います。

秋 三先生は、名誉会長就任を心良くお受け下さり、今後も従前と変わらぬ協力を頂けることになりました。

秋 三先生は既報のように現在東海大学短期大学部三校の学長に就任されておられ、存知の通り、旧制東海大学を卒業後、本学の草創期から学園の発展に貢献され、工学部、第二工学部動力機械工学部及び機械工学科主任教授、工学部及び第二工学部部長、東海大学副学長就任と数々の重責を果されてこられました。

このことは、私達卒業生の栄誉でもあります。一方の三十数年前に多くの学生を指導され、社会人となって活躍する卒業生が、機友会を組織し、この度名誉会長に就任頂けましたこと、教員の会員として有難く感謝する次第です。

機友会会長のご就任のお祝い
新しい年を迎え、先にはご健康のこととお喜び申し上げます。この度の短期大学部三校の学長に就任され、秋 三先生におかれましては、工学部動力機械工学部主任教授、第二工学部機械工学科主任教授、工学部部長、第二工学部部長、東海大学副学長と数々の重責を果されてこられました。このことは、私達卒業生にとりまして、大変誇りに思っています。秋 三先生は、本学を卒業後、本学の草創期から学園の発展に貢献され、工学部、第二工学部動力機械工学部及び機械工学科主任教授、工学部部長、東海大学副学長就任と数々の重責を果されてこられました。このことは、私達卒業生の栄誉でもあります。一方の三十数年前に多くの学生を指導され、社会人となって活躍する卒業生が、機友会を組織し、この度名誉会長に就任頂けましたこと、教員の会員として有難く感謝する次第です。

平成六年度事業計画

機友会事業部長 小杉伸一



の基本的な事業計画を別表の様に策定しました。別表に掲載した事業内容を簡単に説明します。

「定例理事会」は、今までの毎月開催から隔月開催に変更しました。理事会で行っていた諸問題の検討や解決策の策定等の作業は、職務分掌に基づく担当部署へ移管させて各部署の活性化を図ります。

「新入生対象広報活動」は、五月の新入生研修の際に空き時間を利用して機友会の広報活動を行います。入学と同時に学生会員になった新入生に具体的な会の活動内容等を説明してその認識を得てもらうのが目的です。会報第十二号に詳細記事が掲載されています。

「流体機械特別講義」は、学科に寄与するという会の基本方針に基づいて平成四年から三年生を対象に実施されました。会報第十一・十二号に詳細記事が掲載されています。この特別講義は、来年度も実現できる様に学科と折衝する方針です。

「第八回懇親会」は、進学祭中の十一月三日に湘南校舎で実施します。回を重ねることに参加者が増える傾向にあります。婚約者を同伴される方も多々あります。今後家族を含めた会員の親睦を図る目的で継続する方針です。

「機友会々報発行」は、会員のみなさんへ協賛される企業のご理解とご支援に酬いる重要な事業の一つです。会の活動内容を伝達する媒体となる会報は、十一月と三月の年二回発行体制を今後も総力を上げて維持する方針です。

「対卒業生活動」は、三月二十五日の卒業式に対応した会の活動を意味します。機友会としては、卒研ゼミ単位の写真集に卒業生・教職員・機友会役員の名簿と機友会の会則等で編集された「祝・卒業のしおり」を作成して配布したり機友会賞の授与など積極的な活動を行います。また、学生会員から正会員への切り換え手続きも行います。

以上が日程として挙げられる事業計画の内容です。その他に八千余名分となった会員情報のメンテナンス方法の見直し等々の課題が残っています。活動の活性化に影響のある課題を優先的に手がける方針です。最後になりましたが今日の機友会は、皆々様のご理解とご支援に支えられており、強く認識しております。今後も継続的なご理解とご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

【別表】

月	事業計画内容
4月	定例理事会（第88回）
5月	新入生対象広報活動
6月	定例理事会（第89回）
7月	流体機械特別講義
8月	定例理事会（第90回）
9月	
10月	定例理事会（第91回）
11月	第8回懇親会 会報第15号発行
12月	定例理事会（第92回）
1月	
2月	定例理事会（第93回）
3月	対卒業生活動 会報第16号発行

の特別講義は、来年度も実現できる様に学科と折衝する方針です。

「第八回懇親会」は、進学祭中の十一月三日に湘南校舎で実施します。回を重ねることに参加者が増える傾向にあります。婚約者を同伴される方も多々あります。今後家族を含めた会員の親睦を図る目的で継続する方針です。

「機友会々報発行」は、会員のみなさんへ協賛される企業のご理解とご支援に酬いる重要な事業の一つです。会の活動内容を伝達する媒体となる会報は、十一月と三月の年二回発行体制を今後も総力を上げて維持する方針です。

「対卒業生活動」は、三月二十五日の卒業式に対応した会の活動を意味します。機友会としては、卒研ゼミ単位の写真集に卒業生・教職員・機友会役員の名簿と機友会の会則等で編集された「祝・卒業のしおり」を作成して配布したり機友会賞の授与など積極的な活動を行います。また、学生会員から正会員への切り換え手続きも行います。

以上が日程として挙げられる事業計画の内容です。その他に八千余名分となった会員情報のメンテナンス方法の見直し等々の課題が残っています。活動の活性化に影響のある課題を優先的に手がける方針です。最後になりましたが今日の機友会は、皆々様のご理解とご支援に支えられており、強く認識しております。今後も継続的なご理解とご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

内外国の特許・実用新案・意匠・商標・サービスマーク・鑑定 等

発明・ノウハウの相談受付

岩堀特許事務所

弁理士 岩堀邦男(66年機械卒)

実用新案は出願から6ヶ月で登録(無審査)

〒107 東京都港区赤坂4-3-1 共同ビル赤坂513号
地下鉄赤坂見附駅・赤坂駅下車3分
電話東京 03-3587-1625

機友会賞及び慶弔に関する規定について

機友会発足以来12年が経過し、会の目的に沿った活動が、理事及び関係会員諸兄のためめ努力で系統だてて活発に展開されつつあります。

会誌前12号で会則の改正の内容と会則全文及び理事会分掌規定を掲載いたしました。日常業務をあずかる理事会では、それぞれの分掌で、本会の理念にはじまって、活性化のための方策、円滑な会運営などについていろいろな観点から議論されています。いくつか実行に移されているものの中に、機友会賞があります。学生諸君にも評判の制度ですが、実施をより円滑に進めるために現状を踏まえて条文化いたしました。

一方、本会や母校の名誉に著しい功績のあった会員に対し、ささやかでも祝意を表したいとする気運が本会に高



第85回理事会風景

まってきたております。弔事に関してもかねてより懸案事項でありました。これらの件について理事会で鋭意検討を重ねてまいりました。対象の範囲はかなり限定せざるを得ませんが、ここに慶弔に関する規定を制定する運びとなりましたので、会員諸兄に報告するものです。

◎ 機友会賞の規定

【趣旨】

本会は会則第2条の目的達成のための一環として学生会員に対し次のことを行う。

本会の趣旨、活動に深い理解をもち、学業成績及び人物ともに優れ、かつ、本会及び所属学科の各種活動に著しい貢献のあった学生に対し本会は、その精励を賞賛し、表彰を行う。この表彰制度を機友会賞という。表彰は機友会会長賞、機友会賞の2部門からなる。

【対象及び授与人員】

機友会会長賞 動力機械工学科
4年……………3名
第二工学部機械工学科4年……………1名
動力機械工学科4年……………6名
第二工学部機械工学科4年……………2名

【受賞候補者】

(1) それぞれの学科の推薦による。
(2) 機友会理事会の推薦による。

ただし、(1)による場合は、会長はそれぞれの学科主任教授に1月31日までに受賞候補者の推薦を依頼し、3月15日までに受賞候補者名簿を受理するものとする。

【選考の基準】

機友会会長賞 学業成績及び人物ともに優れ、他の学生の模範と認められる者。

機友会賞 本会、所属学科及び学生の諸活動に積極的に参加、協力し本会及び学科に著しい貢献があったと認められる者。

【表彰の時期と方法】

表彰は卒業式終了後、クラスでの各学生へ卒業証書授与等、学科の行事に引き続き行う。会長が表彰状及び記念品を授与する。

【担当】

本件に関する記念品の選定、表彰状の作成等とりまとめ任務は総務部が行う。

◎ 慶弔に関する規定

【趣旨】

本会は会員相互の親睦を図り、あわせて母校の発展に寄与することの目的達成の一環として、慶弔に関する事項を次のように定め、会員及び本会に多大な貢献のあった非会員に対し祝い金、弔金を支出する。

【慶弔の対象に関する事項】

(1) 本会の発展、母校の名誉に著しい功績のあった会員。
(2) 研究、発明等による業績が認められ、公的な機関より表彰された会員。

【弔金の支出】

(1) 本学の特別な記念行事。
(2) その他、会長が必要と認めたもの。
(3) 祝い金は2万円とする。ただし、特殊な慶弔にあつては、社会的情勢をも勘案してその額を会長と総務部長とで協議して決める。実施にあつては会長は事後、理事会へ報告するものとする。

【弔金の対象に関する事項】

(1) 会員で本会に多大なる貢献のあった者。
(2) 現職の特別会員。2万円
(3) 本学他同窓会の会長。1万円
(4) その他、会長が必要と認めた者。

ただし、(4)の場合、会長は事後、理事会に報告するものとする。

【見舞い】

本会に特別な功労があると会長が認めた疾病者に対し、見舞金を支出することができる。

見舞金は5千円とする。

【担当】

本件に関するとりまとめ任務は総務部が行う。

Ooiwa

環境クリエイトに取り組む総合エンジニアリング企業です。

株式会社 大岩機器工業所

〒105 東京都港区新橋2丁目5番6号(大村ビル) TEL. (03) 3503-0635

平成四・五年度十年会費納入者

平成四・五年度に会費をご納入いただきました皆様のご氏名をここに掲載し、厚く御礼申し上げます。会費は会報や名簿の発行をはじめ、機友会の諸事業のために有効に利用させていただきます。今後永年にわたり会報その他の情報誌をお送り致しますので、住所等が変更になりましたら機友会事務局までお早目にお知らせください。

◎既卒者会費納入者

望月	義治	夏目	靖之	廣原	正康	川村	健太郎
柳岡	健治	和田	純一	浜畑	賢吉	深沢	孝義
松野	雅彦	松尾	弘宣	小倉	沢清春	龜山	副夫
武内	慶	伊賀	康之	朝倉	敬一	杉本	秀昭
橋田	一茂	佐藤	理	小山田	孝夫	迫田	晋一
柿沼	邦幸	安川	洋司	池田	峰夫	古本	葉一
幸田	勉	増田	勝憲	松村	良一	西村	竹仙
島田	憲一郎	大谷	弘毅	丸山	靜男	鈴木	久夫
河合	明比古	代本	崇基	榎本	道雄	西澤	克巳
岡本	正樹	土井	靖久	井上	隆	大藪	正紀
木塚	武史	大野	博正	松田	雅博	堀江	尚文
三浦	幸広	安田	二朗	田中	賢治	林	正順
株元	隆弘	関	忠好	村上	英作	荒木	美知郎
岩崎	秀明	上條	利樹	杉原	康雄	堤	善昭
菅	靖彦	河西	正彦	松坂	義之	川田	徹
村上	俊太郎	久保田	博文	天田	勝正	曾我	房吉
市川	太郎	青山	幸弘	星	和央	瀬戸	俊一
橋本	英雄	石井	克昌	野間	伸	山川	武虎
大矢	暁	菊川	直	谷井	真人	桜井	昇
加藤	一男	一瀬	誠	河崎	仁利	神野	章
伊藤	和義	高石	昌雄	茂木	唯資	望月	義久
佐原	芳孝	花井	美成	内山	皓	小杉	伸一
木村	清二	山田	好夫	巴能寺	久行	朝野	高弘
田中	孝治	佐藤	宏	船瀬	孝子	新倉	裕之
大野	芳嗣	岩田	育雄	水口	直	山口	謙
伊藤	弘	佐藤	良一	吉野	正道	大久保	功一
三宅	修巳	河原	英起	青山	和夫	田中	博之
須藤	松之	室伏	元邦	阿部	正宏	小西	俊明
高橋	康孝	齊藤	良信	中川	卓美	平井	正之
相沢	二郎	小野	和美	内沢	留蔵	山田	信男
足立	淳	桜田	亮典	宇敷	進	齊藤	英生
高橋	和秀	鈴木	豊彦	沖川	悦三	桜内	康司
大橋	勝	佐々木	英壽	莫科	信孝	藤間	恵一
						大山	浩正

◎平成四年度卒会費納入者

森	林	宮川	後口	宮崎	高木	村田	木村
俊松	哲男	栄一	能成	学	倉清太郎	陽一	雅幸
	今林	大石	藤森	阿内	原	長谷川博利	浜本昭彦
	博文	修	昭主	正文	秀主		
				洵			

◎MD-1Aクラス

市川 英親	岩田 真弘	江崎 壮二	影山 浩一	菊池 隆哲	後藤 宗晴	茂木 唯資	鈴木 正一	田中 淳一	堀 浩司	福岡 尚貴	矢島 博明	石川 丈二	角田 泰幸	西村 典久	◎MD-IBクラス	青山 幸弘	一ノ瀬 浩司	内田 純一	大坂 友宏	岡部 浩三	笠原 康三	木村 裕	小池 秀明	佐久間 文康	佐藤 三浩	清水 正樹	平 貴之	高橋 裕	遠矢 東一	平野 穂高	藤本 隆行	清水 靖人	竹下 浩二	◎MD-IIクラス	今井 哲也
成毛 洋	牛島 博司	大久保 博治	岡島 裕中	加藤 尚次	小島 宏道	佐久間 茂雄	地主 浩一	染谷 光博	西島 孝生	三浦 秀一	湯川 知広	近藤 毅	田村 知丈	真下 卓也	石田 栄	植草 裕之	榎本 明久	大野 守正	小川 喜誠	加藤 義隆	黒澤 直人	西條 啄哉	佐々木 恭弘	凌 啓朗	末廣 亘	高瀬 伸也	田中 勤	橋本 英雄	福島 誠一	宮松 英統	遠井 俊文	内山 仲中			

◎MD-ⅡBクラス

緒方秀一郎	梶原 英彦	楠 太	小泉 拓郎	坂本 浩二	篠島 順司	菅 健太郎	高尾 守人	高橋 義人	戸塚 啓之	濱田 道昭	平野 安祥	門口 卓也	岡田 寬之	柳沼 仲佳
小澤 直人	川口 雄	桑原 聡吾	小柳 隆安	佐藤 嘉見	清水 基里	鈴木 竜路	高橋 一将	田中 恭介	中村 泰明	平岩 明	松田 健	古澤 隆一	高村 有一	

◎MD-ⅡBクラス

伊澤 博	今村 年延	大山 譲	折原 進矢	蒲沢 幸一	郡司 貴雄	小林 裕和	坂本 泰生	佐藤 俊之	菅谷 智	高橋 誠一	中澤 朋征	長谷川 欣男	原田 武夫	福本 浩児	宮下 清文	吉田 明彦	田口 英生	◎MD-IIIクラス		朝賀 貴之	池田 基彦	市川 伸洋	今給黎 政義	大西 一央	塩澤 治	杉本 裕則	竹増 邦昭	中田 正憲	名和田 建	前村 弘明	山倉 健
伊東 卓	大塚 博之	片岡 康安	尾圖 直人	久保田 博文	小坂橋 修	斎藤 浩一	佐々木 正志	澤崎 晴紀	高木 文勝	鷹架 衛	浜野 吉太郎	平田 武主	松永 茂里	八木 徳之	志賀 寿一	畦地 一彦	石塚 知洋	市原 剛	胡 尚弥	開原 昭典	坂口 昌中	七五三 宗利	須藤 守人	田所 正樹	中林 浩一	早川 峰中	水野 拓	石河 利久			

会費納入のお願い

会報十二号と同時に
発送しましたかわら版
でもご案内致しました
ように、タックシールの
会費有効期限日を「ご確
認いただき、会費未納
の方および有効期限の
切れた方は、会費をお
振り込みくださいます
ようお願い致します。
会費有効期限は過去
にさかのぼることなく
新規にお振り込みいた
だいた日から先へ何年
とさせていただきます。

森迫	市川	◎NMクラス	秋本	飯塚	稲葉	大滝	岡田	奥山	桑原	小高	齋藤	佐藤	里森	志水	鈴木	田中	富永	野口	星	松前	三井	山本	村橋
文頼	大		大輔	健二	孝	智	克彦	浩一	稔	明	直也	充厚	一郎	由憲	裕	俊策	幸司	正道	健一	大吾	謙一	浩	徹
吉川			阿部	飯塚	飯塚	海老沢	大山	小川	小倉	小口	小松	佐藤	嶋田	新谷	鈴木	西川	芳賀	細目	松山	榎田	荒木	住友	
誠			孝宏	祐二	朋満	圭	和也	徹	正敬	雄太	俊治	大輔	穂	敬介	憲久	昌英	隆弘	敦	正敏	勝博	孝義	一憲	淳治

産業用遠心分離機のトップメーカー

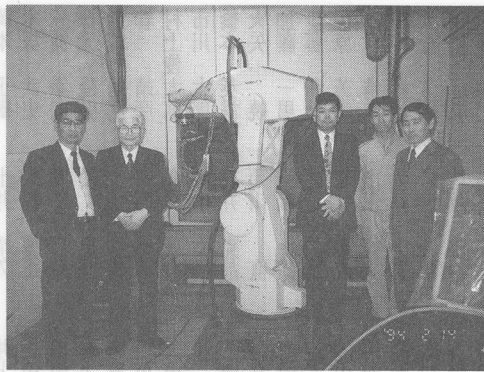
巴工業株式会社
TOMOE ENGINEERING CO., LTD.

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-9-2(第二丸善ビル)
TEL. (03) 3721-4055

サガミ工場 〒242 神奈川県大和市上草柳193番地
TEL. (0462) 62-0511

会社紹介

村田ボーリング技研株式会社

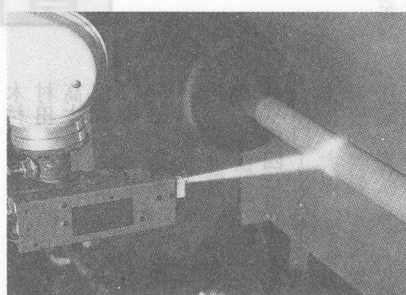


でもその技術を使わせていただくと思う
れるのではないのでしょうか。

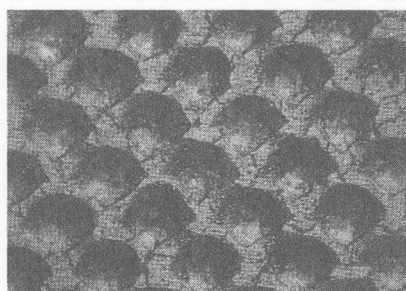
村田ボーリング技研の本社・工場は静岡市にあり、さらに愛知県三好町に名古屋工場、および川崎市に東屋製業所を持っております。資本金は一億円で、また従業員は七十五名ですが、その平均年齢は二十五才と非常に若く、会社全体が非常に活気にあふれています。さて、同社は昭和二十五年エンジンを主体とする自動車部品の再生、いわゆるボーリング加工からはじまりました。その後アメリカから溶射システムの導入するなど新技術を次々と先取りするとともに、自社においても次々と独自の技術を開発し、またそれらの技術をさらに自社で高めてきました。現在同社の誇る主な加工技術は次の通りです。

●溶射加工 各種セラミクス、窒化物、ケイ化物、炭化物

をプラズマ、極超音速ジェットプラズマ、ローカイドスプレー、サーモスプレー、メタライジング、真空プラズマなどにより物体表面にコーティングし、ダイヤモンド



名古屋工場



セルパターン(80L/cm-25μm)

望月と飯島先生および精密機械工学科の堀沢先生三人で訪問させていただきましたのでここに皆様へ紹介させていただきます。

溶射とはセラミクスその他の特殊材料をプラズマを使って各種回転機械の軸印刷機や繊維機械の各種ローラー、エンジンバルブ、射出成形機やポンプのスクリーウなどの回転あるいは増動する機械部品に溶射し、それらの機械部品に非常に優れた耐磨耗性、耐熱性、耐食性を与える技術です。この技術は非常に多方面で応用価値があり、本記事を読まれた多くの皆様からと我が社

にも匹敵する超硬度皮膜を形成して、耐熱、耐磨耗、耐食、絶縁、断熱に優れた性能を発揮させる。

●レーザー加工 村田ボーリング技研の誇る自社開発の最新技術セラミック・アロックス・ロールは、ロール表面にコーティングしたファイバーセラミクスや一酸化クロムの薄層表面に微細な七ルパターン(小さな凹凸をレーザーで形成し、耐磨耗性を非常に向上させることができる。各種印刷機の送りロールなどに応用されている。

●特殊肉盛り加工 これも自社開発した粉体肉盛り加工で、自溶性合金(Ni-Cr、W、Ni-Cr、Co、Ni-Cr)などを基とし、酸素・シリコンとフラックス剤を添加したものを機械部品の表面に溶射肉盛りし、バイトよりも硬く、ステンレスよりも高耐食性、耐磨耗性、耐熱、耐衝撃性を持たせる。

●切削加工 超大型万能ローラー研削、超大型平面加工、超鏡面加工、大型・小型円筒、内径、クランク軸の加工

●精密機械加工 NC旋盤加工、大型旋盤および大型平面加工、エンジンオーバーホール、ボーリング、バルブシート研磨、クランク研削。

●超音波洗浄 各種ローラーの超音波洗浄。このように同社の加工技術はいずれも大きな特徴を持ち、また他の会社の追随を許さない高度な技術です。バブルがはじけ、大量の使い捨ての時代の反省から、今世界中で省資源、省エネルギーが叫ばれていますが、村田ボーリングは四十年前以上も前からまさにそれに貢献するような仕事をしていたのです。日本中不景気が蔓延していますが、村田ボーリング技研は全く別世界の感で、従業員の方々は非常な明るく、また忙しそうに働いておりました。応接室に飾られていた村田保社長直筆の社訓、「人類の安心、平和、幸福実現のため、独自の技術を開発することにより、省資源産業で社会に便利と利益を益し、進化発展に貢献する」をまさに実践してゐる会社です。

十年ほど前の訪問時に比べますと研究開発部門が非常に充実しているの驚きでした。新素材とその加工技術はまさに時代の花形産業です。これから静岡地区へ戻り就職をしたいと望んでいる学生諸君にはぜひ一度訪問を薦めたい会社です。そのときは先輩の佐藤克夫さん(航空宇宙(五十二卒))と村田省三さん(動力機械、昭和五十八年卒)がきくと歓迎してくれるはずですよ。(記望月義久(在厚製作所))

プラズマアンドテクノロジー

時代を先取りしたムラタの溶射技術



村田ボーリング技研株式会社

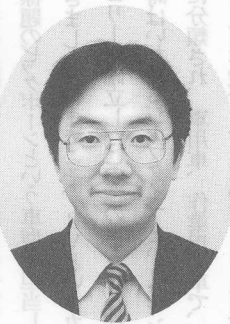
本社 ■ 静岡市北丸子1-30-45 電話 (054)259-1251

新技術・研究紹介

ニューフロンティアにおける磁気浮上技術の高度利用

動力機械工学科講師

押野 谷 康 雄

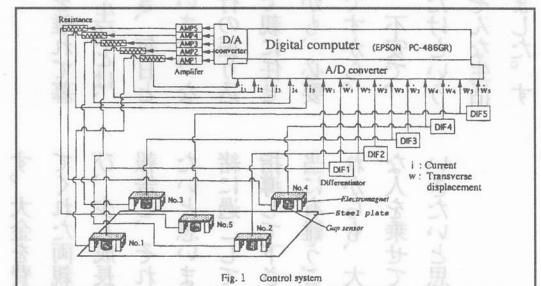


宇宙や地下はこれからのニューフロンティアと言われています。特に21世紀に本格化する宇宙の人類の進出は予想もつかないほど素晴らしいものになるでしょう。無潤滑という磁気浮上の特徴が無重力である宇宙空間で特に力を発揮します。例えばベアリング部分をすべて磁気軸受に置き換えることで、潤滑材不用品メンテナンスフリーの状態を実現できるのです。

一方地下空間は、積雪寒冷地の居住空間、都市空間として有力な手段となりますが、断熱性、遮音性、隔離性等があるため、輸送機関には無排気、無騒音である磁気浮上車両が重要な役割を果たします。また大深度地下ではリニアモーター式高速エレベーターが利用されたり、地下都市間

の連絡には高速リニアモーターカーが利用されます。地上ではこれらの技術はより早い時期から実用化され、超高層ビルはより高く、居住地や都市はさらに分散化できることになります。私たちの居住空間は、このような磁気浮上技術の高度利用によって豊かで快適なものとなっていくことでしょう。

さて、いま研究室で行っている磁気浮上実験のひとつについてご紹介致します。図に示したものは薄い鋼板を5つの電磁石と非接触式距離センサーを用いて、空中に浮遊させようとする実験装置の概念図です。将来、高速化のために軽量化されたリニアモーターカー等が走行するときに防

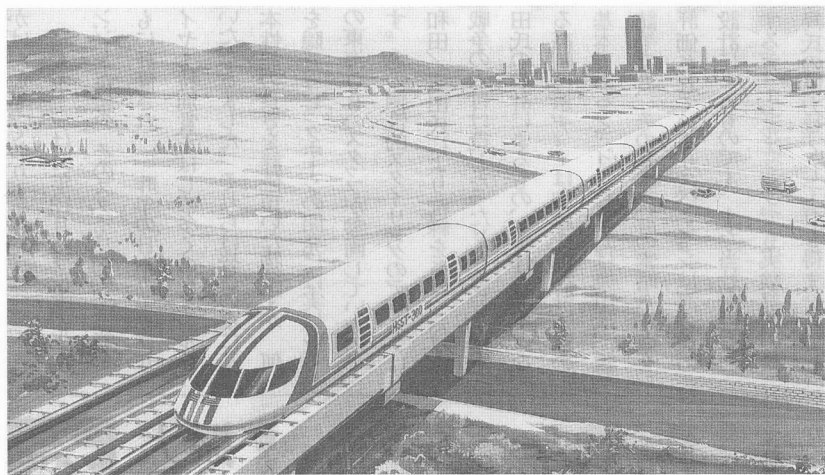


が、卒研生のがんばりで見事安定に浮上させることができました。本年度の卒業研究の成果は、日本機械学会の講演会で発表します。来年度は、磁気浮上車両の予見制御方式の開発やニューラルネットワークの適用、電磁力推進式水中モノレールの走行安定性等の研究を行う予定です。

止して安定に浮上走行させるかというのを主眼においた研究です。浮上対象の鋼板は、長さ800mm、幅600mm、厚さ0.3mmの垂鉛めつき板です。鋼板と各電磁石との距離をセンサーで測定し、もし浮遊させようとする位置（実験では各電磁石表面から5mm）より下であれば電磁石から発生する吸引力を強くするようにコンピューターが指令を出します。ひとつの電磁石から発生する磁力は200ガウス程度です（某社エレキバンは1200ガウス）。コンピューターには鋼板の変

位の他に、速度や電磁石コイル電流値も読み込んでいます。そして最適な吸引力を出すために必要な電圧値を最新の制御理論を用いてコンピューターで計算し、即座に電磁石に加えます。対象とした鋼板がとても柔らかいために、実験は非常に苦労しました

「アインシュタイン博士は晩年『人類の存続がすべての目標に優先する』と訴えています。大深度地下から宇宙空間まで、自然と調和したより豊かな人間社会を21世紀に実現するために、共通の未来といった新しい見方でものを考えて行かなければならない時期が訪れています。我が研究室でも長期的な視点に立って、人類の生活を永遠に豊かなものにするため、日夜磁界の中をさ迷いながら奮闘しております。」



HSST-300(時速300kmの都市交通タイプ)



私達は、明日の地球環境を考えます。

荏原インフィルコ・エンジニアリング・サービス株式会社

〒108 東京都港区港南1-6-27 TEL 03-5461-5111

維持管理・補修・水処理薬品・巡回点検・建設工事・その他関連業務

卒業生の声

ビッグホーンは 東海OBの力作だ!!

いすゞ自動車 RV設計部
(動力機械昭和五十七年度卒)

合田 一郎



いすゞ自動車に入社し、最初に小型車設計部(今の商品企画室の前身)と言う部署に配属されて、以来11年一貫して標題のビッグホーンという車型を担当してきました。いまでも、RVというカテゴリーを確立したこの種の車も、入社当時はいわゆるジープタイプというジャンルに分類され、軍用車、作業用の車で、ジャンルに代表される一部のオフロード好きのマダの車でした。実際、私も入社するまでこの車の存在すら知りませんでした。そんな私がこの車を担当する事になったのは単なる偶然でしかありません。しかし、今日この車が当社のフラッグシップカーとして世のRVブームの一翼を担ったことは偶然ではなく、ここに紹介する東海OBをはじめ、多くのスタッフの努力のおかげだと思っております。

ビッグホーンは91年12月にフルモデルチェンジして以来、そのスタイリング、性能ともに評価され、一昨年の日本カーオブザイヤー特別賞をはじめ多くのタイトルをいただきました。それらは皆この車に基本性能の良さを評価頂いた物ですが、何を隠そうビッグホーンの開発には実に多くの東海OBのスタッフが参画していたのです。あの個性的なスタイリングのデザインは和田/室田氏により洗練をされ、パワー戦争の火付け役となったV6エンジンは案田氏の設計によるもの、車体の基本となる高剛性ボディは加藤氏の設計、車の基本であるシャーシフレームは奥山氏、雑誌等でも、その基本設計の素晴らしさを評価されているサスペンションは河合氏の設計によるものです。また当社が得意とするディーゼルエンジンでも実験部門の松島氏の協力無くして有り得ませんでした。車両をまとめる立場にある私は彼らのアドバイス協力により、多くの技術的な難関を克服できたと思います。

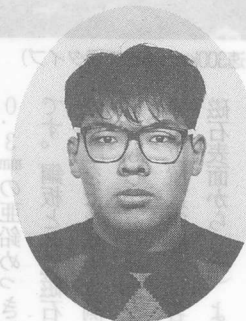
今、この時のメンバーはそれぞれ新たなプロジェクトへ取り組んでいます。近い将来、次なる新しい車を皆様にお見せできるチャンスがあるかと思っています。そのときは、その車のどこに東海OBのヒットが秘められているか探してみてください。今後ともいすゞ東海ファミリーは新しい車をリリースして行きますので、皆様のご声援をお願いします。

在校生の声

大学生活を 振り返って

(動力機械工学科四年)

木村 冠太



大学生活が、あっという間に過ぎてしまいました。私が運よく4年間で、卒業できそうだからでしょうか。それとも、充実していたのでしょうか。どちらか、そうとは、言い切れません。

私は入学時から、親元を離れて暮らし始めました。今までの生活とは、全く異なった生活に気が付き、毎日とまどっていたのを憶えています。なにしろ、炊事、洗濯、銀行の振り込みや引き出し等々、今まで親に任せきりのことを自分で、しかも、必要にせまられて、行うわけですから。そんな中で大学生活は、不安で、とりあえず、学校に行くだけという感じでした。けれども、そんな生活にも徐々に慣れてしまいました。す

ると今度は、このままでいいのかわという別の不安におち当たり、「何かに打ちこまなければ、時間がただ過ぎるだけだ。」と思いました。しかし、あせるばかりで何も見つかりません。自動車が好きということ以外なにもないままでした。やがて学校やアルバイトをつうじて、友人や知人が増えるにつれ、自分の道が少しずつ見えてきました。それは、色々な人の中で、色々な事を学び、色々な意味で自分を磨き続けようということです。今までマイペースで走ってきたのだから、これからはマイペースで走ればいいんですよ。4年間もかけて、こんなことぐらいしかわからんのかと、あらゆる人に怒られそうですが、私にとっては、これからの人生で一番大事な事を、大学生活を通じて、学べたと思っています。大金を費し、私を大学にいかせてくれた両親に、よく遊び、少し学び、少し成長したことを、胸張って報告し、それと同時に心から感謝したいと思っています。それから、私と一緒に過ごしてくれた友人や仲間達、指導して下さいました先生や先輩方、本当に有難うございました。私は、これからも、大好きな自動車に、色々な人を乗せて、マイペースで走っていききたいと思います。入会します。

東芝特約店(金属・新素材) 金属材料・新素材・金属CVD装置・半導体用ガス・各種設備(設計・施工)の専門商社



ウエキコーポレーション

《旧社名：ウエキガス科学株》

本社 〒146 東京都大田区久が原5丁目33番10号
TEL (03) 3753-2211 FAX (03) 3753-7117
支店：北日本・北関東・相模原 事業所：泉・姫路・北九州・大分
営業所：埼玉・横浜・大阪 出張所：浜松・名古屋

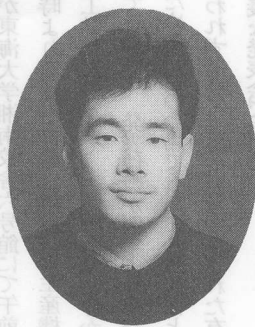
本社勤務 水口 直 (S47年修士卒)
本社勤務 日向野 保雄 (S52年卒)
本社勤務 奥山 俊英 (S54年卒)
本社勤務 七澤 浩史 (H6年卒)

在校生の声

大学生生活四年間を振り返って

(第二工学部機械工学科四年)

佐久馬 健一



私の東海大学四年間の学生生活がもうすぐ終わろうとしています。この四年間を振り返ってみると色々なことがありました。

私がこの第二工学部機械工学科に入学したのが二十二歳でした。ちょうど現役で入学した人が卒業する歳です。私と同じ歳の人が卒業して行く中、私はこれからなのだなと思いついて、何か取残されて行くような感じを受けたのを覚えています。

入学してまず考えたことは、学生生活を勉強だけで終わるのは勿体無いと思ひ、クラブ活動をして行くことと思ひました。候補に挙げた三つの内、高校時代からやっていたバトミントンか、または山岳、あるいは最近初めたスキーにしようかと悩んだ

挙句、結局バトミントン部に入部しました。ところがこのバトミントン部が曲者で、創部してから一年目で、更に経験者は一人もいないというとてもない状況でした。しかし、このバトミントン部に入ったお蔭で、呑み仲間などができ楽しく過ごせたと思います。

そして、この四年間の中で一番思い出深いものとなるのは、卒業研究で行った軽量滑空機の研究・試作で、滋賀県琵琶湖で開催された鳥人間コンテストに出場したことです。滑空機製作のための毎日夜の十一時頃まで大学に残り、時には徹夜もありました。また、コンテスト開催の期間は、琵琶湖の湖畔でテントを張り、そこで五泊六日を過ごしました。

この卒業研究を行った期間は、今迄に無い辛いものを感じましたが、終ってしまった現在では、これから辛いことを乗り越えて行く自信になっていきます。

このように私が大学生生活四年間を楽しく無事に過ごせたのは、今迄私を支えてくれた友人や先生方など多くの人達のお蔭と思つています。今後は社会人100%でやって行くことになりませんが、今迄の経験を生かし頑張っていきたいと思ひます。

大学一般記事

ワールド・ソーラー・チャレンジ'93

次世代エネルギーとしての、

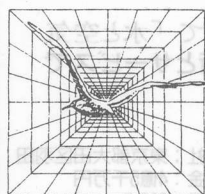
クリーンエネルギーの有効利用を目指し、東海大学総合研究機構プロジェクト研究の一環としてソーラーカー開発が行われている。93年度はTOKAI 51 SR (2号車) が製作された。製作にはボディ部門、シヤシ部門、電気部門に分かれ、動力機械は高本教授をチーフにシヤシ部門を担当し、高本研卒研究生を含め連日深夜まで12号館地下機械工作室で製作が続けられた。国内では、オーストラリアで3年に一度開催されるワールド・ソーラー・チャレンジに向け、八郎潟(大潟村)と鈴鹿の2レースに出場すると共に、車の欠陥箇所の改良が行われた。93ワールド・ソーラー・チャレンジは11月7日から世界12カ国52チーム、そのうち日本から20チームが参加し、オーストラリア大陸最北部都市ダーウインから南部都市アデレード



TOKAI 51 SR (2号車)

までの大陸縦断三千km間で行われた。11月1日ダーウイン到着、エアコンのきいたホテルから突然でると、サウナ風呂を思わせるような蒸し暑さが襲ってくる。アボリジニと同じくらい日焼けするのではないかと思われる強烈な日差しの下、ダーウイン近郊の市道でテスト走行が続けられ、連日夜遅くまでソーラーカーの整備に取り掛かった。6日スタート順位を決めるためのスピードアタックがサーキットで行われ、トップスピードは94kmを記録した。7日AM7時、最高速度の順にスタートし11番目に出走する。荒涼たる赤い砂漠がどこまでも広がるスチュアート・ハイウェイを伴走車4台と共に野宿をしながら進んだ。40度を越える猛暑、厳しい自然と蠅に悩まされながら1日が終わる。競技終了時刻は10日目の午後3時半、焦るがいつこうに距離が延びない。優勝チーム(ホンダ)がゴールした時刻には、TOKAI 51 SRはスタート地点から千五百km付近にいた。レースは9日間と3時間32分で無事完走し18位で終了した。初参加にしては好成績であった。今後さらに大幅な改良がくわえられ新ソーラーカーが誕生する予定である。

(記 千葉 頭)



教育機器
医療機器
医薬品



東海教育産業株式会社

本社 神奈川県伊勢原市下粕屋164番地
〒259-11 TEL 0463-92-1881(代) FAX 0463-94-7402
営業所 東京・湘南・伊勢原・清水・沼津・大阪・九州・北海道
代表取締役 谷越安男
湘南営業所 秦野市南矢名一丁目5番13号 ☎ 0463-78-5671

東海大学出版会

(PC-9801シリーズ)

N88-BASIC数値計算パッケージⅠ・Ⅱ

定価 Ⅰ・15450円 Ⅱ・20600円(税込)

FORTRAN基礎・応用数値計算パッケージ

定価 基礎編・15450円 応用編・20600円(税込)

FORTRANレンズ光学パッケージ

定価 51500円(税込)

〒151 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4 ☎ 03(5478)0891 目録呈

平成5年度卒研発表会・謝恩会開催



動力機械工学科謝恩会

平成六年二月十六日(水)に平成五年度卒業予定の学生による卒業研究発表会が東海大学湘南校舎六号館にて午前十時より開催された。発表会は生産機械工学科との合同で、十一の会場に分かれて行われた。発表件数が例年より少ないためか、どの会場でもあまり時間にとらわれず活発な質疑応答がなされた有意義な発表会であった。

発表会終了後、学生諸君による謝恩会が厚木ロイヤルパークホテルにて午後六時より開催された。まず謝恩会幹事長の木村冠太君が四年生を代表して先生方への謝辞が述べられ、謝恩会は開会した。

来賓を代表して康井義明主任教授が「この研究も濃密な内容で、堂々とし

た発表だった」との論評も付け加えながら祝辞が述べられた。また機友会を代表して河西会長、望月、奥副会長さらに小杉事業部長が壇上に上がり、それぞれの方々より祝辞と機友会の意義および活動状況について説明がなされた。引き続き乾杯と記念品の贈呈へと進み、「レーザープリンタ」の目録が学科へ贈られた。

みな充実した発表ができたと思えて、祝宴は一気ににぎやかになった。特に数名の先生方が宙を舞っている光景も見られ、幹事はホテル備品の被害を最小限に抑えようと必死であった。(苦勞様、そのおかげで酒は全然飲めませんでしたね)。最後は林副主任教授による締めくくられ、盛況の内に謝恩会は終演した。

一方、第二工学部機械工学科の平成五年度卒業研究発表会は、二月十八日(金)午後六時より代々木校舎四号館で開催



第二工学部機械工学科卒研発表会

機友会表彰者

された。第二工学部の卒業研究は時間的制約ばかりでなく施設、機材の面で困難な面もあります。が、主任教授を始めとする指導教員と卒研生が一丸となつて行つてきた一年間の集大成を見ると、ハッディを感じさせない充実した発表会でした。また恒例となつた学生諸君による謝恩会が、卒業式当日(三月二十五日(金))に東海大学同窓会館で行われる予定です。

機友会尊は本会が、学業によく励み、かつクラスの団結を寄与した学生、あるいは特別な努力や学科のために非常貢献した学生に授与される賞であり、今年度は卒業式当日に次の学生に授与される。受賞おめでとうございます。

機友会会長賞

木下 浩司、角田 博和、角井 貞友、今永 圭治、大面 英巳

機友会賞

藤井 哲志、加藤 康晴、木村 冠太、島田 則近、阿部 徹、岩本 祐一、佐久馬 健一、篠原 正樹、竹田 康一、広瀬 友之

東海大学機友会 平成4年度会計報告

平成5年3月31日現在

収入の部	(単位 円)	支出の部	(単位 円)
前年度繰越金	3,206,030	事務諸経費	342,538
平成4年度生会費納金(207名分)	2,069,760	会報発行諸経費	1,854,733
既卒者会費納入金	0	会員名簿発行経費	335,850
会報9,10号掲載広告料(9社分)	669,000	卒業生勧誘事業経費	538,400
会報11号掲載広告料(14社分)	968,558	幹事会諸経費	245,226
懇親会費(22名分)および御祝儀	135,000	総会・懇親会諸経費	561,138
預金利息(横浜銀行分)	6,813	雑費	300,955
		小計	4,178,840
合 計	7,055,161	次年度繰越金	2,876,321
		合 計	7,055,161

平成5年10月23日 上記監査の結果、相違の無いことを認める。

監査 加藤 新
伊藤昌大

編集後記

機友会も益々発展し、会報も14号発行の運びとなりました。

これも皆様の御協力の賜です。今後とも情報等の投稿お待ちしております。また、機友会からお送りする封筒の宛名の下に貴方様の機友会番号が銘記されています。御連絡の折には、お名前と一緒に忘れずにお書き下さい。最後に会費未納入の方は、会運営の為御理解頂き御納入をお願い致します。尚、会員近況等の情報は〒108 東京都港区白金1-7-20 信友印刷(株) 大矢 暁 宛 お送り下さい。お待ち申し上げます。



荏原サービスは、ポンプ業界最大手の荏原製作所グループの一員として「水と空気と環境」をテーマに「世界の人々の豊かな将来のために最上の技術とサービスで広く社会に貢献する」ことを企業理念としている会社です。

お客様に感動を与えるテクニカルサービスを開発しています。

荏原サービス株式会社

〒144 東京都大田区羽田旭町13-3 ☎03-3743-7311(代) 卒業生 柳川雅春(S45) 小野寺道(S45) 小杉伸一(S51) 柴田 慎(S51) 田中睦子(S53) 鈴木浩司(S59) 中村勝彦(S62) 永田 剛(H5) 平野俊次(H5) 駐地一彦(H5) 菊川 直(H5)

本社：東京都大田区羽田
資本金：4億5千万円
従業員：910名
年 商：247億円
(平成4年度実績)